

2019年1月31日 現在

ファンドの概況

基準価額※(円)	4,457
純資産総額(億円)	50.9
設定日	2004年3月19日
決算日	毎月12日 (休業日の場合は翌営業日)
信託期間	無期限

・基準価額は信託報酬控除後です。
・参考指数は、TCWファンズ-MetWestハイ・イールド・ボンド・ファンドのベンチマーク(ブルームバーグ・パークレイズUSコーポレート・ハイ・イールド・インデックス2%イシュー・キャップ※1)(ファンド入替前までは、ICE BofAML US High Yield Index (BB)※2 × 70% + 同インデックス(B)※2 × 30%)とAmundi Funds ボンド・ユーロ・ハイ・イールドのベンチマーク(ICE BofAML European Currency High Yield Constrained Index (BB-B)※2)を1対1の割合で算出した合成インデックスです。
※1 ブルームバーグ・パークレイズUSコーポレート・ハイ・イールド・インデックス2%イシュー・キャップは、ブルームバーグ・ファイナンス・エル・ピーおよびその関係会社(以下「ブルームバーグ」と総称します。)が公表をおこなうインデックスです。ブルームバーグはブルームバーグ・ファイナンス・エル・ピーの商標およびサービスマークです。パークレイズは、ライセンスに基づき使用されているパークレイズ・バンク・ピーエルシーの商標およびサービスマークです。ブルームバーグ・ファイナンス・エル・ピーおよびその関係会社またはブルームバーグのライセンサーは、ブルームバーグ・パークレイズ・インデックスに対する一切の独占的権利を有しています。
※2 ここで述べられているインデックス・データは、ICE Data Indices, LLC、その関係会社(「ICE Data」)及び/又はその第三者サプライヤーの財産であり、アムンディ・ジャパン株式会社による使用のためにライセンスされています。ICE Data及びその第三者サプライヤーは、その使用に関して一切の責任を負いません。免責条項の全文については、<https://www.amundi.co.jp/fund/100009.html>をご参照ください。

ファンドの内訳

内訳	比率
TCWファンズ-MetWestハイ・イールド・ボンド・ファンド	49.10%
Amundi Funds ボンド・ユーロ・ハイ・イールド	48.65%
現金等※	2.25%
合計	100.00%

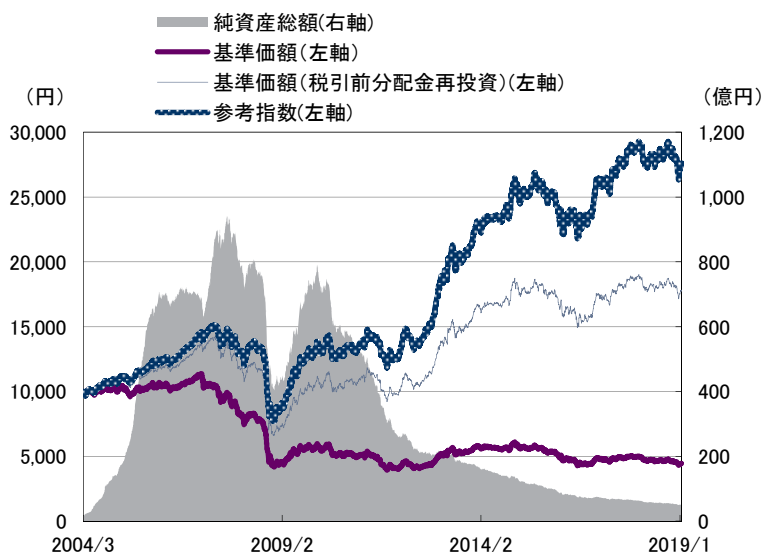
※現金等には未払諸費用等を含みます。

ファンドの概要

平均格付	BB-
平均最終利回り(%)	4.31
平均直接利回り(%)	5.16
修正デュレーション(年)	3.28

・平均格付とは、基準日時点でファンドが保有している有価証券の信用格付を加重平均したものであり、ファンドの信用格付ではありません。

設定来の基準価額の推移



・基準価額(税引前分配金再投資)は、税引前分配金を分配時に再投資したものと計算しています。基準価額は信託報酬控除後です。信託報酬については、後記の「ファンドの費用」をご覧ください。
・上記は過去の実績であり、将来を示唆または保証するものではありません。

騰落率

	1か月	3か月	6か月	1年	3年	設定来
ファンド	1.14%	-2.05%	-2.32%	-4.07%	5.51%	78.34%
参考指数	1.89%	-2.32%	-2.71%	-3.62%	16.25%	176.48%

・騰落率は、税引前分配金を分配時に再投資したものと計算しています。ファンドの騰落率であり、実際の投資家利回りとは異なります。
・上記は過去の実績であり、将来を示唆または保証するものではありません。

《ご参考》為替レートの騰落率

	1か月	3か月	6か月	1年	3年	設定来
米ドル/円	-1.84%	-3.80%	-1.85%	0.16%	-9.85%	1.97%
ユーロ/円	-1.46%	-2.55%	-3.68%	-7.35%	-5.31%	-5.51%

・為替レートの騰落率は、対顧客直物電信売買相場の仲値におけるものです。

2019年1月31日 現在

投資先ファンド「TCWファンズ-MetWestハイ・イールド・ボンド・ファンド」の運用状況(純資産総額比)

組入上位5銘柄

	銘柄名	投資国	クーポン	償還日	比率
1	DSLA 2007-AR1 2A1A	アメリカ	2.64600%	2047/4/19	1.71%
2	REYNOLDS GRP ISS/REYNOLD	アメリカ	6.28731%	2021/7/15	1.52%
3	TENET HEALTHCARE CORP	アメリカ	4.75000%	2020/6/1	1.50%
4	SPRINT CORP	アメリカ	7.62500%	2025/2/15	1.47%
5	CLEAN HARBORS INC	アメリカ	5.12500%	2021/6/1	1.39%
上位5銘柄合計:					7.59%

ポートフォリオ概況

平均格付	BB
平均最終利回り(%)	5.01
平均直接利回り(%)	6.34
修正デュレーション(年)	3.53
組入全銘柄数	240

・平均格付とは、基準日時点でファンドが保有している有価証券の信用格付を加重平均したものであり、ファンドの信用格付ではありません。

組入格付別比率

格付	比率
AAA	8.74%
AA+	-
AA	-
AA-	-
A+	-
A	-
A-	-
BBB+	0.69%
BBB	2.47%
BBB-	14.44%
BB+	13.68%

格付	比率
BB	17.72%
BB-	12.54%
B+	11.48%
B	6.52%
B-	5.62%
CCC+	4.80%
CCC	0.39%
CCC-	0.34%
CC+以下 および無格付	0.57%
合計	100.00%

・格付については、S&PあるいはMoody'sの上位の格付を採用しています。S&PおよびMoody'sの格付が付与されていない場合はフィッチの格付を採用しています。また、現金等については「AAA」として表示しています。

投資先ファンド「Amundi Funds ボンド・ユーロ・ハイ・イールド」の運用状況(純資産総額比)

組入上位5銘柄

	銘柄名	クーポン	償還日(含むコール日)	国	比率
1	AMUNDI 3 M -I ※	-	-	その他 ※	5.59%
2	TELEFO 3.75% PERP	3.750%	2022/3/15	スペイン	1.06%
3	AMUNDI TRESO CT -C ※	-	-	その他 ※	0.97%
4	IGT 4.75% 02/23	4.750%	2023/2/15	アメリカ	0.96%
5	ISPIM 6.625% 09/23 EMTN	6.625%	2023/9/13	イタリア	0.91%
上位5銘柄合計:					9.48%

※投資信託証券です。

ポートフォリオ概況

平均格付	B+
平均最終利回り(%)	3.80
平均直接利回り(%)	4.20
修正デュレーション(年)	3.18
組入全銘柄数	324

・平均格付とは、基準日時点でファンドが保有している有価証券の信用格付を加重平均したものであり、ファンドの信用格付ではありません。

組入格付別比率

格付	比率
AAA	-
AA+	-
AA	-
AA-	-
A+	-
A	-
A-	6.56%
BBB+	0.79%
BBB	0.98%
BBB-	2.24%
BB+	25.72%
BB	18.90%

格付	比率
BB-	18.46%
B+	7.67%
B	7.49%
B-	6.76%
CCC+	2.26%
CCC	-
CCC-	-
CC+以下 および無格付	0.40%
現金等	1.78%
合計	100.00%

・格付はS&P、Moody'sおよびFitchの格付を基準にしております。
・現金等には、投資先ファンドのキャッシュやレポ取引等を含みます。

組入上位5カ国

国	比率
アメリカ	16.40%
フランス	11.62%
イタリア	11.20%
イギリス	11.10%
その他 ※	8.69%

※投資信託証券です。

2019年1月31日 現在

分配金概況(1万口当たり、税引前)

投資先ファンドからの受取金(1万口当たり)および分配対象額(1万口当たり、分配金支払い後)

設定来累計	9,021円
-------	--------

決算日	2018/2/13	2018/3/12	2018/4/12	2018/5/14	2018/6/12	2018/7/12
投資先ファンドからの受取金※	57円	58円	58円	58円	59円	61円
収益分配金	20円	20円	20円	20円	20円	20円
分配対象額 (分配金支払い後)	1,217円	1,254円	1,293円	1,330円	1,369円	1,410円

決算日	2018/8/13	2018/9/12	2018/10/12	2018/11/12	2018/12/12	2019/1/15
投資先ファンドからの受取金※	59円	63円	63円	63円	65円	63円
収益分配金	20円	20円	20円	20円	20円	20円
分配対象額 (分配金支払い後)	1,449円	1,492円	1,535円	1,578円	1,622円	1,665円

※インカム収益、キャピタル益、元本払戻金等を含む(経費控除後)

※主に主要投資対象であるTCWファンズ-MetWestハイ・イールド・ボンド・ファンドとAmundi Funds ボンド・ユーロ・ハイ・イールドより支払われた受取金から経費を控除したものです。受取金には主要投資対象における組入債券のインカム収益に加え、債券や為替のキャピタル益(評価益を含む)、元本払戻金などが含まれます。キャピタル益は必ず獲得できるものではなく、キャピタル損(評価損を含む)が発生する場合があります。

・直近12カ月の分配金概況です。

・上記は1万口当たり(収益分配金については1万口当たり/税引前)の数値です。

・分配金は過去の実績であり、将来を示唆または保証するものではありません。

・運用状況によっては、分配金額が変わる場合、または分配金が支払われない場合があります。

・分配金額を決定する要因は、分配対象額のみではなく、基準価額の水準、主要投資対象の組入債券の利回りや価格の状況等を鑑みた上で、分配金額は決定されます。

2019年1月31日 現在

ファンドマネージャーのコメント

TCWファンズ-MetWestハイ・イールド・ボンド・ファンド

(TCWインベストメント・マネジメント・カンパニー)

《市場動向》

1月は米国と海外の経済指標がいずれも悪化を示唆する兆候を示したにもかかわらず、リスク資産は上昇しました。FRB(米連邦準備理事会)が12月の利上げの後、よりハト派的な姿勢を示したことが好感されました。1月のFOMC(米連邦公開市場委員会)会合は政策金利やバランスシート縮小計画を据え置き、忍耐強さと政策の柔軟性を表明した穏健なガイダンスを発表し、今後の金融政策が経済指標次第であることを強調しました。その後の記者会見でのハト派的なメッセージを受け、よりタカ派的な金利軌道を懸念していた投資家はさらに安堵し、株式は急速に反発し、米国ハイイールド債市場も大幅に上昇しました。

当月、昨年末まで拡大してきた米国ハイイールド債市場のスプレッド(国債との利回り格差)は大幅に縮小しました。低格付債が総じてアウトパフォームし、CCC格債が+5.3%となったのに対し、BB格債は+4.2%、B格債は+4.5%でした。また、WTI(ウェスト・テキサス・インターミディエイト)原油価格が急速に改善したことで、コモディティ関連業種(油田サービス、独立系エネルギーなど)に主導され、主要セクターがいずれもプラスのリターンを上げました。その他の上位のパフォーマンスを上げた業種は、製薬、スーパーマーケットなどでした。一方、航空宇宙、メディア、自動車は後れを取りました。さらに、過去2カ月にわたり米国ハイイールド債の新規発行は低迷していましたが、当月は市場全体の回復や金利に関する懸念の低下を背景に資本市場が再開し、JPモルガンによれば約176億米ドルが発行されました。ただし、過去と比較すると発行額としては少なめの新年のスタートとなりました。

《運用状況》

当ファンドは、当月も保守的な投資スタンスを維持しました。保有銘柄は、耐性のあるバランスシートを持ち、主要事業が景気循環の影響を受けづらく、かつ高水準のフリー・キャッシュフローの創出能力を有する発行体によるものが中心です。他方、変動の大きいコモディティ分野(エネルギー、金属・鉱業など)のアンダーウェイトを維持しています。当月は、今までの市場下落によりバリュエーションが改善した、いくつかのディフェンシブな銘柄や質の高い独立系エネルギー銘柄の追加を通じ、エネルギーの全体的なアンダーウェイト幅を縮小しました。有線銘柄も追加し、通信のオーバーウェイト幅をやや拡大しました。当ファンドでは、引き続き高い市場のボラティリティ(価格変動性)を予想しており、価格の下落・変動時を活用すべく、流動性を相対的に高水準に維持しています。

《今後の見通しと運用方針》(将来の市場環境の変動等により、下記運用方針が変更される場合があります)

当ファンドでは、2019年は信用リスクに対する懸念の高まりから、米国ハイイールド債のスプレッドは拡大すると予想しています。市場では、財務レバレッジの上昇、債券の投資家保護条項の劣化が多くみられてきており、バリュエーションは依然として全体的にやや割高にみえます。しかし、そのような環境下でも、入念な投資家は特定の発行体や業種で局所的に投資機会を見出すことができると考えております。当ファンドでは、引き続き厳格なボトムアップ・アプローチを活用し、こうした投資機会に注目します。当ファンドは、米国ハイイールド債の中でもより格付が高めでディフェンシブな分野を、具体的にはリセッション(景気後退)に対して強い耐性を持ち、かつ、非循環型の業種(通信事業、ヘルスケア)を引き続き選好する一方、資本財・サービス業種の組入比率を低位にとどめております。

Amundi Funds ボンド・ユーロ・ハイ・イールド

(アムンディ・アセットマネジメント)

《市場動向》

1月の欧州ハイイールド債市場は大きく上昇し、月次ベースでは2016年7月以来となる良好なパフォーマンスとなりました。他の高リスク資産クラスと同様に、欧州ハイイールド債は、FRBのより緩和的なメッセージ、魅力的なバリュエーション、そして良好な需給環境などから恩恵を受けました。そのため、欧州ハイイールド債市場のスプレッドは大きく縮小し、リターンを押し上げました。

当月、欧州ハイイールド債に投資する投資信託への投資資金動向は、高リスク資産に対する投資家の買い安心感の高まりにより、資金純流入となりました。一方、新規発行額は依然として極めて低水準となっており、需給環境は昨年12月から大きく好転しました。

《運用状況》

当月、当ファンドのパフォーマンスは、代表的な指数であるICE BofAML European Currency High Yield Constrained Indexとおおむね同等の良好なリターンとなりました。当月の投資行動としては、発行市場において、Telecom Italia、EDP、Accorの新発債を購入しました。一方、流通市場を通じて自動車セクターの組入比率を引き下げました。ポートフォリオのベータ値(市場変動に対する価格感応度)については、政治的・経済的に不透明な環境下にあるため、1未満(市場の変動率よりも低い水準)に引き下げました。

《今後の見通しと運用方針》(将来の市場環境の変動等により、下記運用方針が変更される場合があります)

直近の景気指標は、ユーロ圏の経済成長が鈍化していることを示しています。インフレ率もECB(欧州中央銀行)の目標を下回っています。米国においても、FRBはハト派的になっており、金融政策に柔軟な姿勢を示したことは投資家に安心感を与えました。欧州ハイイールド債の発行企業のファンダメンタルズは依然として健全であり、調達資金の使途も同様です。借り換えリスクが限定的であることから、デフォルト(債務不履行)率は低水準で推移するとみています。こうした状況下、当ファンドは欧州ハイイールド債市場に対して強気な姿勢を維持しています。引き続き個別銘柄選択を重視しつつ、分散投資や流動性に配慮した運用を継続する方針です。

ファンドの目的

ファンドは、主として、米国のハイイールド債市場へ投資するファンドと、欧州のハイイールド債市場へ投資するファンドの毎月分配クラスに投資することにより、中長期的な信託財産の成長と安定的な収益確保を図ることを目指して運用を行うことを基本方針とします。

ファンドの特色

- ① 原則として毎月12日(休業日の場合は翌営業日)に決算を行い、収益分配方針に基づいて分配を行うことを目指します。
 - ・ ファンドは、投資信託証券に投資した結果得られるインカム・ゲイン^{※1}やキャピタル・ゲイン^{※2}を分配原資とします。
 - ・ 運用状況(基準価額水準および市況動向)等によっては分配を行わないこともあります。
 - ・ 原則として、為替ヘッジを行わないため、分配金は為替相場の変動の影響を受けます。
 - ※1 公社債や預金の利息収入、株式の配当のことをいいます。
 - ※2 有価証券等を売買することによって得られる売買益のことをいいます。
- ② 米国と欧州のハイイールド債(高利回り債／投機的格付債)に投資します。
 - ・ 米国と欧州のハイイールド債(高利回り債／投機的格付債)に投資することにより、高い利息収益の獲得を目指しつつ、分散投資により信用リスク[※]の低減に努めます。
 - ※発行体の財務内容の悪化等により、債券の元金や利息等の支払が滞ったり、支払われなくなるリスクをいいます。
- ③ 市場と通貨がペアです。
 - ・ 米国と欧州の2つのハイイールド債市場に投資します。
 - ・ ミドルとユーロの2つの通貨に分散投資します。
 - * ミドルとユーロの2つの通貨に分散投資することにより、為替変動リスクを軽減することに努めますが、円独歩高など外国為替相場等の影響により、為替変動リスクが軽減されない場合があります。
- ④ 2つの運用会社が運用を行う、2つのファンドに投資します。
 - ・ TCWインベストメント・マネジメント・カンパニーが運用する「TCWファンズ-MetWestハイ・イールド・ボンド・ファンド(XJシェアクラス)」とアムンディ・アセットマネジメントが運用する「Amundi Funds ボンド・ユーロ・ハイ・イールド」の毎月分配クラスに投資します。組入比率や組入対象の変更は、委託会社の判断により適宜行われます。

◆資金動向および市況動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。◆

投資リスク

ファンドは、投資信託証券への投資を通じて、主として外国債券など値動きのある有価証券(外貨建資産には為替変動リスクがあります)に実質的に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、**投資元本が保証されているものではありません**。ファンドの基準価額の下落により、**損失を被り投資元本を割込むことがあります**。ファンドの運用による損益はすべて投資者に帰属します。なお、投資信託は預貯金とは異なります。

基準価額の主な変動要因としては、価格変動リスク、金利変動リスク、為替変動リスク、信用リスク等が挙げられます。なお、基準価額の変動要因(投資リスク)はこれらに限定されるものではありません。また、その他の留意点として、ファンドの繰上償還、分配金の支払いに関する留意点、ハイイールド債への投資に関する留意点等があります。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)の「投資リスク」をご覧ください。

《当資料のお取扱いについてのご注意》

当資料は、「アムンディ・米国・ユーロ高利回り債ファンド」の商品内容説明資料としてアムンディ・ジャパン株式会社が作成した資料です。当資料に記載したコメントは、将来を保証するものではなく、資料作成時点における当社の見解や予想であり、将来の経済・市場環境、政治情勢等の変化により予告なく変更することがあります。当資料に記載したデータは資料作成時点のものであり将来の傾向、数値等を示唆するものではありません。購入のお申込みを行う場合には、販売会社から投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので、必ず商品内容、リスク等の詳細をご確認の上、ご自身のご判断でお申込みください。

《投資信託ご購入時の注意点》

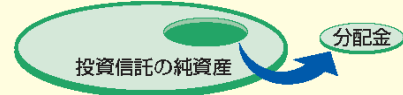
投資信託は、その商品の性格から次の特徴をご理解のうえご購入ください。ようお願い申し上げます。

●投資信託は預金ではなく、預金保険の対象とはなりません。●投資信託は保険契約ではなく、保険契約者保護機構の保護の対象とはなりません。●登録金融機関を通じてご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。●投資信託の設定・運用は委託会社が行います(銀行は販売の窓口となります)。●投資信託は値動きのある証券(外貨建資産には為替変動リスクがあります)に投資するため、運用実績は市場環境等によって変動します。したがって、投資元本および分配金が保証された商品ではありません。●投資した資産の価値の減少を含むリスクは、投資信託をご購入のお客さまが負うことになります。●投資信託のお申込みに関しては、クーリングオフの適用はありません。

収益分配金に関する留意事項

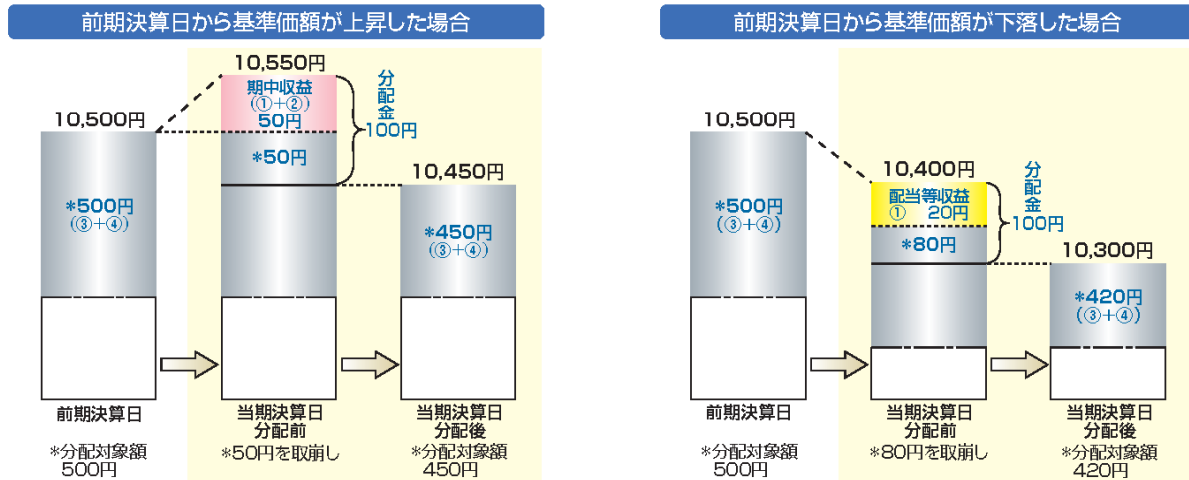
- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。

投資信託で分配金が支払われるイメージ



- 分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合

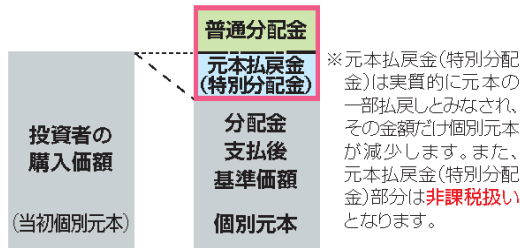


(注) 分配対象額は、①経費控除後の配当等収益および②経費控除後の評価益を含む売買益ならびに③分配準備積立金および④収益調整金です。分配金は、分配方針に基づき、分配対象額から支払われます。

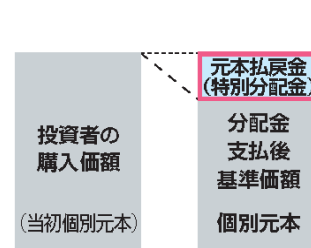
※上記はイメージであり、実際の分配金額や基準価額を示唆するものではありませんのでご注意ください。

- 投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。

分配金の一部が元本の一部払戻しに相当する場合



分配金の全部が元本の一部払戻しに相当する場合



普通分配金：個別元本(投資者のファンドの購入価額)を上回る部分からの分配金です。

元本払戻金(特別分配金)：個別元本を下回る部分からの分配金です。分配後の投資者の個別元本は、元本払戻金(特別分配金)の額だけ減少します。

お申込みメモ

購入単位	1円または1口を最低単位として販売会社が定める単位とします。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額とします。
購入代金	販売会社が定める期日までにお支払いください。
換金単位	販売会社が定める単位とします。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
換金価額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額とします。
換金代金	換金申込受付日から起算して、原則として5営業日目から販売会社においてお支払いします。
購入・換金申込受付不可日	ユーロネクストの休業日ならびにフランスの祝休日、ルクセンブルクの銀行休業日およびニューヨーク証券取引所の休業日あるいはニューヨークの銀行休業日のいずれかに該当する場合には、受け付けません。
申込締切時間	詳しくは販売会社にお問い合わせください。
換金制限	委託会社の判断により、一定の金額を超える換金申込には制限を設ける場合があります。
購入・換金申込受付の中止および取消し	委託会社は、金融商品取引所における取引の停止、決済機能の停止、外国為替取引の停止、その他やむを得ない事情等があるときは、購入・換金の申込受付を中止することおよび購入・換金の申込受付を取消すことができます。
信託期間	無期限とします。(設定日:2004年3月19日)
決算日	年12回決算、原則毎月12日です。休業日の場合は翌営業日とします。
収益分配	年12回。毎決算時に収益分配方針に基づいて分配を行います。 販売会社によっては分配金の再投資が可能です。
課税関係	課税上は株式投資信託として取扱われます。 公募株式投資信託は税法上、少額投資非課税制度の適用対象です。 配当控除および益金不算入制度は適用されません。

ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用

購入時手数料	購入申込受付日の翌営業日の基準価額に、販売会社が独自に定める料率を乗じて得た金額とします。有価証券届出書作成日現在の料率上限は 3.24% (税抜3.00%) です。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
信託財産留保額	ありません。

投資者が信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用 (信託報酬)	実質的な負担の上限:純資産総額に対して 上限年率1.78% (税込) ※ ※ファンドの信託約款に定める信託報酬上限年率1.08% (税込)に組入投資信託証券のうち信託報酬が最大のもの(年率0.70%)を加算しております。ファンドの実際の投資信託証券の組入状況等によっては、実質的な信託報酬率は変動します。
その他の費用・手数料	その他の費用・手数料として下記の費用等が投資者の負担となり、ファンドから支払われます。 ・有価証券売買時の売買委託手数料および組入資産の保管費用などの諸費用 ・信託事務の処理等に要する諸費用(監査費用等を含みます。) ・信託財産に関する租税 等 ※その他、組入投資信託証券においては、ルクセンブルクの年次税(年率0.01%)などの諸費用がかかります。 ※その他の費用・手数料の合計額は、運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を表示することはできません。

◆ファンドの費用の合計額については保有期間等に応じて異なりますので、表示することはできません。

委託会社、その他の関係法人の概要

委託会社	アムンディ・ジャパン株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商) 第350号 加入協会:一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、日本証券業協会、 一般社団法人第二種金融商品取引業協会
受託会社	株式会社 リそな銀行(再信託受託会社:日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社)
販売会社	販売会社については巻末をご参照ください。
ファンドに関する照会先	委託会社の名称:アムンディ・ジャパン株式会社 お客様サポートライン:0120-202-900(フリーダイヤル) 受付は委託会社の営業日の午前9時から午後5時まで ホームページアドレス:https://www.amundi.co.jp/

販売会社一覧(業態別・五十音順)

金融商品取引業者等		登録番号	日本証券業協会	一般社団法人投資信託協会	一般社団法人日本投資顧問業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会
株式会社 関西アーバン銀行*	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第16号	○			○	
株式会社 近畿大阪銀行	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第7号	○				
株式会社 埼玉りそな銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第593号	○			○	
株式会社 りそな銀行	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第3号	○			○	

※2019年2月12日より取扱い開始